

# 美術科

## フンドーキンマンションにて 作品展を開催しました

アーティストたちの新たな活動拠点の場として注目されているフンドーキンマンションにて、学生3名が展示を行いました。

「森山楓 個展」 専攻科1年 森山楓  
マンションでは珍しいメソネット式の部屋を利用し、1階に水彩やクレヨン画、2階に段ボール画を展示。期間中は、壁に絵を描く公開制作も行いました。

私はこれまで作品を人に見せることを避け、自分の殻に閉じこもって制作をしてきたのですが、今回の作品展に來場して下さったたくさんの方々と話をする中で、人に見せることは想像していたほど怖くないと感じました。開かれた場所で展示することで、何を伝えたいのか、誰に見て欲しいのかが明確になった気がします。今回の展示を機に、制作に対する姿勢も大きく変わり、次の段階へ進む歩に繋がりました。



## 色彩検定試験に合格しました

2013年11月10日、本学にて色彩検定試験を実施しました。美術科の選択授業である「色彩計画」の受講者から希望する学生で受験し、二級に3名、三級に4名が合格しました。色彩検定とは、文部科学省後援の技能検定で「色に

関する知識や技能」を理論的、系統的に学ぶことにより、誰もが「理論に裏付けられた色彩の実践的活用能力を身につけることを目的としたもの」です。合格者には、認定書と認定カードが与えられます。(2014年は実施未定)



## アート・デザイン系情報誌 「humhum」、専攻科で創刊!



専攻科造形専攻ビジュアルデザインコース西口ゼミの学生で、大分市のアート・デザインに関するフリーペーパー「humhum(フムフム)」を発行しています。実践をふまえた授業として、編集から取材、撮影、執筆、デザイン、データ入稿、配布と、制作行程を体験しながらエディトリアルデザインを学んでいます。2015年オープンの際立美術館、市内街歩きガイドの特集をはじめ、アートやデザインで活躍している大分の人をクローズアップするコーナー、イベントページなど、芸術を身近に感じてもらうための情報を掲載。また、中央町商店街の方から店舗を紹介した街歩きマップ制作の依頼があり、こちらも無事完成しました。大分に今までになかった、街の人目線・の冊子ができて嬉しいと学内外から好評をいただいています。

## 「視界」Worlds apart」 美術科2年 原田知香

「見る人」にそのまま解釈をゆだねたいという思いから、写真、を媒体に選び、フンドーキンマンションの通路にて展示を実施。新しい発見を求め、普段美術と接点を持たない国際文化学科2年 出口英さんとタッグを組んで展示に挑みました。



## 「106」専攻科1年 田中慶理

自身の制作テーマである「一人が残す痕跡」をモチーフに制作したインスタレーション作品を展示。メソネットタイプの仕組みを利用し、1階にこれまで制作した平面作品やポर्टフォリオを展示して自身の紹介を行い、2階に新作のインスタレーション作品の展示や移住・交流する場を設けました。会期中には、中学生とのセッションイベントなども行いました。



美大生やデザイナーの展示がマンション内で複数あったこともあり、県内外から多くの方が訪れ、意見などを聞くことができた。サイトスプレッド的な作品を作れたかという点では山積みですが、学生のうちに場所を意識してその場で制作できたというのは、貴重な体験だったと思います。

## 第52回美術科「卒業・修了制作展」を 開催しました

毎年恒例となっている「卒業・修了制作展」は、本学を卒業・修了する学生たちがこれまでに学んできた学習の成果と創作研究の集大成となる作品の数々を、多くの方々に発表することを目的とした作品展です。今年度は、短大美術専攻27名、デザイン専攻56名、専攻科造形専攻25名の計108名の学生が出展。それぞれのコースごと

にブースを分け、油画、日本画、ミクストメディア、彫刻、ビジュアルデザイン、テキスタイルデザイン、プロダクトデザイン分野の約200作品を集結した見応えのあるものとなりました。近年は、平面作品以外にもアイデア溢れるパッケージデザインや商品企画モノ、デザイン性と機能性を兼ね備えた家具類などの作品も多くなっており、これまでに以上に多くの関係者や専門家から高い評価をいただきました。



## 「オペラトマト」PRROLABELを デザインしました!

本学音楽科の卒業生がオリジナルブランドとして栽培を始めた「オペラトマト」は、クラシック音楽をたづぷりと聴かせて育てた美味しいトマトです。そのトマトの魅力をPRする「オペラトマト」PRROLABELをデザインを専攻科造形専攻2年の田井啓介さんが制作しました。在学生とOBのコラボによる美味しいトマトを、ぜひご賞味ください。

